

# 八代市立学校規模適正化基本計画

平成23年10月

八代市教育委員会

## 1 計画の目的

平成22年9月、八代市立学校統合等審議会から学校規模適正化に関する答申を受けました。本市教育委員会では、教育理念である「八代の未来を担うひとづくり」を基盤に据え、この答申を最大限に尊重し、平成23年1月に「八代市立学校規模適正化基本方針」を策定しました。

この基本方針では、「本市の教育目標達成をめざし、子どもたちが等しく望ましい教育を受ける機会を得るためには、全市的・中長期的視野で展望した学校規模適正化基本計画をもとに教育環境の整備を進めることが必要である」と示されました。本計画は、この基本方針を受け、学校規模の適正化に向けた取組を具体的に示したものです。

## 2 計画の期間

本計画は、第1次計画期間と第2次計画期間に区分し、第1次計画期間の取組について具体的に示すものとします。

- 第1次計画期間を、平成23年度から平成30年度までの8か年とし、前期を平成23～26年度（4か年）、後期を平成27～30年度（4か年）とします。
- 第2次計画期間を、平成31年度からとし、具体的な期間については、第1次計画の進捗状況により決定します。

## 3 基本的配慮

学校の統廃合を行う場合は、児童生徒、保護者及び地域の不安を解消し、望ましい教育環境の整備ができるよう、子どもを中心にした視点を持って、特に以下の点に配慮して進めます。

- 学校を取り巻く状況は地域によって異なりますので、保護者及び地域の意見を踏まえて検討する必要があるため、地域説明会を開催し、十分に意見・要望等を聞き、理解を得ながら進めます。
- 児童生徒の精神的な負担を最小限に抑えるための準備期間を設け、統合前の交流授業や交流活動を実施します。
- 統廃合により生じる遠距離通学への対応として、スクールバスの導入等、地域の実情に応じたきめ細かな対応に努めます。
- 各学校で進められてきた特色ある教育活動を統合後の学校でも引き継げるよう配慮します。
- 学校が地域で果たしてきた歴史的・文化的役割や公共施設としての機能等にも配慮します。

○統廃合により生じた学校跡地・施設等については、地域の意見を尊重しながら全市的な視点で有効活用できるよう努めます。

#### 4 具体的計画

##### (1) 第1次計画（平成23～30年度）

「八代市立学校規模適正化基本方針」に基づき、複式学級を有する小学校の規模適正化を最優先として段階的に取り組みます。併せて、義務教育9年間を通して、系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行い、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を図るため、「八代市小中一貫・連携教育推進計画」に基づき、段階的に小中一貫・連携教育の導入を進め、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進します。

なお、「八代市学校施設耐震化計画」との関連を図り、効果的な適正化を進めるとともに、社会状況の変化や学校規模適正化に対する地域の理解等を十分把握して進める必要があることから、計画の変更が必要な場合には柔軟な対応に努めます。

##### ①前期（平成23～26年度）

前期計画では、複式学級を有し、過小規模化の著しい小学校・分校を含む東陽・泉・宮地東の3地域における教育環境の整備を優先課題として取り組みます。

地域名	対象学校名	適正化の具体的対応												
東陽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種山小学校</li> <li>・種山小学校 内ノ木場分校</li> <li>・河俣小学校</li> </ul>	<p>①児童数及び通常学級数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成26年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種山小学校</td> <td>76名(6学級)</td> <td>63名(6学級)</td> </tr> <tr> <td>内ノ木場分校</td> <td>4名(2学級)</td> <td>1名(1学級)</td> </tr> <tr> <td>河俣小学校</td> <td>12名(3学級)</td> <td>12名(3学級)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②東陽町内の小学校3校の再編を行うことで複式学級が解消される(統合後76名、6学級)ため、種山小、内ノ木場分校、河俣小を統合し、1小学校区とします。</p> <p>③統合した小学校の位置は、現在の種山小学校とします。</p> <p>④統合の時期については、平成25年4月を目標とします。</p> <p>⑤今後の児童生徒数の推移及び施設の状況により、将来的には一体型小中一貫校の開校についても検討を考慮します。</p>		平成23年度	平成26年度(見込み)	種山小学校	76名(6学級)	63名(6学級)	内ノ木場分校	4名(2学級)	1名(1学級)	河俣小学校	12名(3学級)	12名(3学級)
	平成23年度	平成26年度(見込み)												
種山小学校	76名(6学級)	63名(6学級)												
内ノ木場分校	4名(2学級)	1名(1学級)												
河俣小学校	12名(3学級)	12名(3学級)												

<p>泉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泉第一小学校</li> <li>・ 泉第二小学校</li> <li>・ 泉第三小学校</li> <li>・ 泉第八小学校</li> <li>・ 泉中学校</li> </ul>	<p>①児童数及び通常学級数</p> <table border="1" data-bbox="614 271 1326 506"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成26年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泉第一小学校</td> <td>58名(6学級)</td> <td>50名(5学級)</td> </tr> <tr> <td>泉第二小学校</td> <td>25名(3学級)</td> <td>21名(3学級)</td> </tr> <tr> <td>泉第三小学校</td> <td>3名(1学級)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>泉第八小学校</td> <td>8名(3学級)</td> <td>8名(3学級)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②泉町内の小学校4校の再編を行い、泉第一小・泉第二小・泉第三小については、統合することで複式学級が解消される(統合後79名、6学級)ため、1小学校区とします。</p> <p>③統合した小学校は、泉中学校を一部改修し、施設一体型の小中一貫校として新たな開校を目指します。</p> <p>④泉第八小については、通学距離の関係から統合は望ましくなくため、泉中学校との連携型の小中一貫校として、現在の場所での新たな開校を目指します。</p> <p>⑤泉第三小については、小中一貫校開校までの間、教育効果面・施設安全面・学校運営面を考慮した最善の対応を目指します。</p> <p>⑥小中一貫校の開校時期については、平成26年4月を目標とします。</p>		平成23年度	平成26年度(見込み)	泉第一小学校	58名(6学級)	50名(5学級)	泉第二小学校	25名(3学級)	21名(3学級)	泉第三小学校	3名(1学級)	0名	泉第八小学校	8名(3学級)	8名(3学級)
	平成23年度	平成26年度(見込み)															
泉第一小学校	58名(6学級)	50名(5学級)															
泉第二小学校	25名(3学級)	21名(3学級)															
泉第三小学校	3名(1学級)	0名															
泉第八小学校	8名(3学級)	8名(3学級)															
<p>宮地東</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宮地東小学校</li> </ul>	<p>①児童数及び通常学級数</p> <table border="1" data-bbox="614 1205 1326 1395"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成23年度</th> <th>平成26年度(見込み)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮地東小学校</td> <td>校区内から4名 特認校制度4名 (1学級)</td> <td>校区内から1名 特認校制度未定 (1学級)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②平成18年度から特認校として運用してきた宮地東小については、これまでの取組を検証し、成果と課題をもとに特認校制度の在り方について十分検討した上で、著しい過小規模化を解消するための望ましい教育環境の整備を目指します。</p>		平成23年度	平成26年度(見込み)	宮地東小学校	校区内から4名 特認校制度4名 (1学級)	校区内から1名 特認校制度未定 (1学級)									
	平成23年度	平成26年度(見込み)															
宮地東小学校	校区内から4名 特認校制度4名 (1学級)	校区内から1名 特認校制度未定 (1学級)															

②後期(平成27～30年度)

後期計画では、前期計画における取組の成果と課題を踏まえ、複式学級を有する小学校・分校及び将来著しく過小規模化となる見込みの小学校・分校についての教育環境の整備を目指します。実施時期等の具体的な取組内容については、前期計画期間中に検討し、平成26年度中の公表を目指します。

地域名	対象学校名	適正化の具体的対応
八千把	・ 八千把小学校 浜分校	過小規模にある浜分校（平成27年度には複式学級を有し、平成29年度の児童数見込み1～2年生で10名、2学級）の望ましい教育環境の整備を図るため、本校との統合を目指します。
金剛	・ 金剛小学校 敷川内分校	複式学級を有し、過小規模にある敷川内分校（平成29年度の児童数見込み1～3年生で17名、2学級）の望ましい教育環境の整備を図るため、本校との統合を目指します。
鏡	・ 鏡西部小学校	複式学級を有し、過小規模にある鏡西部小学校（平成29年度の児童数見込み39名程度、4学級）の望ましい教育環境の整備を図るため、鏡町内における再編を目指します。

なお、平成27年度時点で、将来の児童生徒数の推移見込みから、複式学級を有することになる小学校があれば、近隣の小学校との再編等を検討し、第1次後期計画または第2次計画に盛り込むことも考慮します。

また、平成23年度から段階的に導入し、平成27年度に全市において実施予定の小中一貫・連携教育の成果を踏まえつつ、併せて生徒数の減少傾向の著しい中学校の状況も考慮の上、新たに小中一貫校としての開校も教育環境の整備の一つとして検討していきます。

## （2）第2次計画（平成31年度以降）

第2次計画の具体的内容については、第1次計画の進捗状況に基づき示すこととします。基本的な考え方としては、小学校では、未再編の小規模校（11学級以下）について、中学校は、生徒数の状況及び社会情勢の変化を考慮して、第1次計画期間中に検討し、平成30年度中の公表を目指します。

※各表中の児童生徒数データは、平成23年4月1日現在の年齢別人口より算出

学校規模適正化に係る取組経過（平成22～23年度）

22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5月～9月 八代市立学校統合等審議会開催（計5回）</li> <li>○9月 学校規模適正化に係る答申</li> <li>○1月 「学校規模適正化基本方針」策定</li> </ul>
23年度 5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5/17 市長及び関係議員へ説明</li> <li>○5/20 「計画素案」公表に先立ち、「基本方針」を市ホームページで公表</li> <li>○5/20 定例教育委員会で「計画素案」を策定</li> <li>○5/24 関係支所長（東陽・泉）と協議</li> <li>○5/24～6/8 関係学校長（種山小・河俣小・泉一小・泉二小・泉三小・泉八小・泉中・宮地東小・金剛小・八千把小・鏡西部小）と協議</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○6/7～6/29 関係学校PTA会長及び分校委員長（種山小及び内ノ木場分校・河俣小・泉一小・泉二小・泉三小・泉八小・宮地東小・金剛小及び敷川内分校・八千把小及び浜分校・鏡西部小）に計画素案を説明</li> <li>○6/9 校長園長会議で計画素案の策定及び取組状況を報告</li> <li>○6/9 東陽地域審議会で計画素案を説明</li> <li>○6/10 泉地域審議会で計画素案を説明</li> <li>○6/15 八代地域審議会会長へ計画素案を説明</li> <li>○6/22 泉二小で保護者説明会を実施</li> <li>○6/23 泉一小で保護者説明会を実施</li> <li>○6/23 鏡地域審議会会長へ計画素案を説明</li> <li>○6/29 文教福祉委員会で計画素案及び今後のスケジュールについて説明</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○7/1 広報やつしろ7月号及び市ホームページで計画素案を公表し、パブリックコメントを実施（7/1～8/1）</li> <li>○7/1 地域説明会のお知らせチラシを東陽町・泉町の全地区に配付</li> <li>○7/6 宮地東小で保護者説明会を実施</li> <li>○7/28 東陽地域市政協力員会議で計画素案を説明</li> </ul>
8～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○8/2 パブリックコメント期間終了（寄せられた意見なし）</li> <li>○第1回地域説明会の実施（教育総務課・教育施設課・学校教育課） <ul style="list-style-type: none"> <li>8/9（火）内ノ木場分校 参加者26名</li> <li>8/11（木）河俣小 参加者20名</li> <li>8/18（木）種山小 参加者19名</li> <li>8/19（金）泉一小 参加者23名</li> <li>8/23（火）泉二小 参加者21名</li> <li>8/24（水）泉三小 参加者12名</li> <li>9/1（木）泉八小 参加者17名</li> </ul> </li> <li>○9/12 文教福祉委員会で6～9月の取組状況を報告</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>○10/5 泉三小保護者説明会で事前統合について協議</li> <li>○10/11 委員改編後の文教福祉委員会で2年間の取組経過を報告</li> <li>○10/12 定例教育委員会で「計画」成案を策定</li> <li>○10/17 内ノ木場分校保護者説明会で要望事項等を確認</li> </ul>
11月以降	<p>【予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○11月 関係地域（東陽・泉）での第2回説明会の実施</li> <li>○11月 関係地域審議会（八代・鏡・東陽・泉）で経過報告</li> <li>○3月議会で八代市立小学校設置条例の一部改正（東陽）</li> </ul>